

# CSRレポート 2019



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



株式会社 クリーンセンター

## 目次

- 1 目次
- 編集方針
- 会社概要
- 2 トップメッセージ
- 3 事業案内：廃棄物事業
- 4 事業案内：リサイクル事業
- 5 事業案内：洗浄・化学洗浄事業
- 事業案内：環境コンサル事業
- 6 沿革
- 7 8 社是・Vision・CSR
- 9 10 KPI
- 11 12 E. 環境の取り組み
- 13 14 S. 社会の取り組み
- 15 16 G. ガバナンスの取り組み
- 17 マテリアルバランス
- 18 環境測定データ

## 会社概要

商号	株式会社クリーンセンター
代表者	酒田 雅央
設立	1978年
資本金	1,000万円
従業員数	17名
所在地	福岡県北九州市門司区新門司 3丁目67番地の9

## 編集方針

報告対象組織	株式会社クリーンセンター
報告対象期間	2016年4月～2019年3月 (※一部対象期間外を含む)
発行時期	2019年7月
参考ガイドライン	環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版) SDG コンパス
お問合せ先	株式会社クリーンセンター 担当：前田 〒800-0115 福岡県北九州市門司区新門司 3-67-9 フリーダイヤル：0120-023-326 TEL：093-481-4523 FAX：093-481-4529 メール：marketing@clean-center.co.jp

加盟・参加団体	北九州商工会議所 公益社団法人 福岡県産業資源循環協会 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 一般社団法人 北九州市防災協会 公益財団法人 北九州国際技術協力協会 公益社団法人 門司法人会 九州環境エネルギー産業推進機構 (K-RIP) 北九州環境ビジネス推進会 NPO 法人 九州環境カウンセラー協会 ふくおか石膏ボードリサイクル研究会
---------	--



## トップメッセージ

### 社会課題を日常的な活動で解決する

2018年は、当社にとって創業40周年という節目の年になりました。これまでの歩みを振り返ると、廃棄物の処理に携わることで環境に関する様々な課題に直面しながら、一つ一つ解決してきたと感じます。大量生産・大量消費から発生した廃棄物を、時代の要求に合わせ、まずは適正に処理することを目指し焼却事業のスタート、地球温暖化問題に伴いリサイクル処理の推進、新技術・新製品の開発に伴い発生する新たな廃棄物のリサイクルへの挑戦として、人の力を惜しまない前処理の強化を実行し、多品目の処理ノウハウを確立してきました。今後も常に時代の要求は変化していくと予測しており、進化し続けることの重要性をひしひしと感じております。

時代の変遷に感わされることなくこれまで歩んでこれたのは、創業当時から「社会への貢献・地域との調和」を常に意識し事業を行ってきたからだと感じます。これは現代の言葉に置き換えるならば「サステナブルな地域と企業の実現」と捉えています。

当社事業の拠点である北九州市は、2018年「SDGs 未来都市」に選定されました。これは、持続可能なまちづくりのために、SDGs 達成に向けた優れた取組を行う自治体として選ばれた証です。取組施策にはリサイクル産業の技術向上も含まれており、当社事業も重要なファクターになると感じております。

これからの当社の在り方を整理し、今後のビジョンとそれに沿ったCSR方針を新たに策定しました。ステークホルダーのニーズ分析と事業活動で与える影響を再評価、社会課題が整理されているSDGsの17のGoal、169のターゲットから当社事業と相互に関連する項目をピックアップし、ESGの側面から具体的取組を整理しKPIを設定しています。廃棄物の削減や適正処理、資源循環のスキーム形成は社会課題でもあります。私たちの日常的な活動の積み重ねが着実に課題解決へと繋がっていくと信じ、活動を推進していきます。

元号も新たに「令和」となり、新しい時代がスタートしました。当社は事業活動を通じた社会課題の解決を目指します。そして、地域の皆様、お客様、お取引先、社員、社員のご家族といった幅広いステークホルダーの皆様から求められ、愛していただける企業となれるよう精進して参ります。今回のCSRレポートにはその決意も含めて表現させていただきました。皆様より忌憚のないご意見を賜ることができたら幸いです。



代表取締役  
酒田 雅央



### SDGsとは

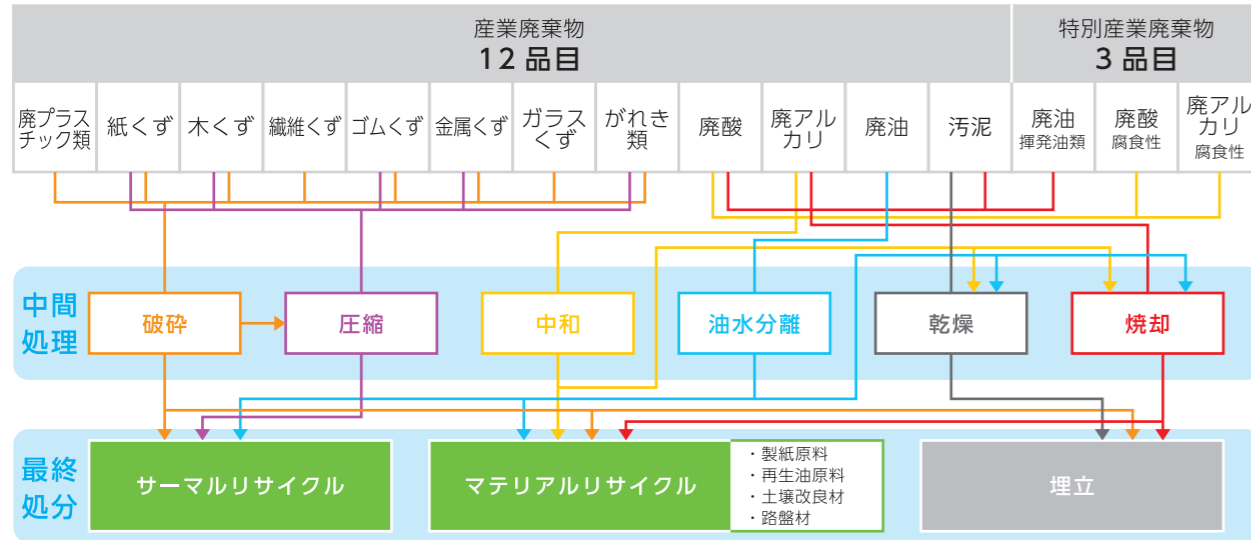
2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの持続可能な開発目標のこと。途上国だけでなく先進国も含めたすべての国が取り組むべき目標であり、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

# 事業案内

## 廃棄物事業

### 処分

廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリなどの工業系廃棄物、廃石膏ボード・木くず・がれき類・廃プラスチック類などの建設系廃棄物・固形廃棄物について、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の区分を問わず幅広い種類の廃棄物の処理を行っています。また、アルカリ蓄電池、グラスウール（断熱材）、廃塗料類、クリーニング廃棄物、混合廃棄物などの処理困難物や小ロットで発生する廃棄物についても対応可能です。



### 収集運搬

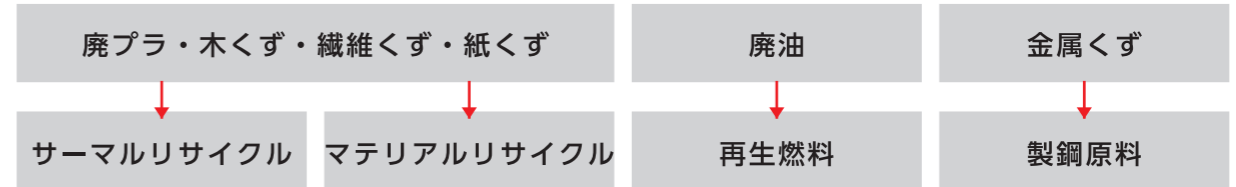
廃棄物の様々な種類・性状・荷姿に対応できるよう、各種車両を保有しています。収集エリアも中国地方から北部九州まで広域での対応が可能です。また、北九州市の一般廃棄物収集運搬も行ってまいります。



保有車両 16台	タンク車 5台 (兼強力吸引車含む)	パッカー車 2台	キャブオーバ 5台 (クレーン付、パワーゲート)			
	強力吸引車 4台 (兼タンク車含む)	ダンプ車 1台	アームロール車 3台			
産業廃棄物 収集運搬 18品目 (一部地域を除く)	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず
	ガラスくず	鋳さい	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	13号廃棄物
特別管理産業 廃棄物収集運搬 10品目 (一部地域を除く)	廃油 揮発油類、有害金属を含む 特定産業廃棄物	廃酸 腐食性、有害金属を含む 特定産業廃棄物	廃アルカリ 揮発油類、有害金属を含む 特定産業廃棄物	鋳さい 有害金属を含む 特定産業廃棄物	ばいじん 有害金属を含む 特定産業廃棄物	
	燃え殻 有害金属を含む 特定産業廃棄物	汚泥 有害金属を含む 特定産業廃棄物	廃石膏綿等	廃水銀等	13号廃棄物	

## リサイクル事業

処理方法、処理工程を改善した当社オリジナルのリサイクルフローの構築により、常に高いリサイクル率の達成を目指しています。特に廃石膏ボードについては、九州工業大学・福岡大学との産学連携を図り、北九州市環境未来技術開発助成事業により100%再資源化を目指した実証実験を数年にわたり実施しました。

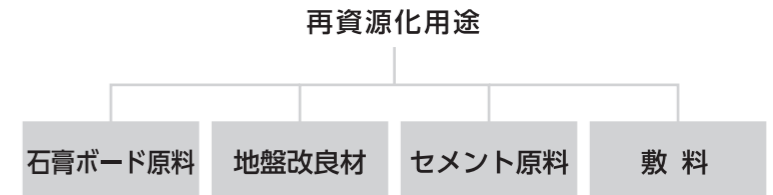


### 廃石膏ボードのリサイクル

国内でも大型の処理能力を持った設備にて、建築工事・解体工事から発生する廃石膏ボードの100%リサイクルを目指しています。石膏ボードは分別することでリサイクル可能になり、環境対策にも貢献できます。

#### ●これまでのあゆみ

2002年	廃石膏ボード専用リサイクル設備導入
2004～2005年	九州工業大学との共同研究を実施し、特許申請
2009年	産学連携でふくおか石膏ボードリサイクル研究会を数社共同で立ち上げ
2009～現在	福岡大学との共同研究を実施 北九州市環境未来技術開発助成事業により実証実験を実施
2013年	福岡県リサイクル製品認定制度による認定資材
2019年	リサイクル設備更新予定



処理能力：94 m<sup>3</sup>/8h  
 熱灼減量値：1%前後（メーカーカタログ値）

# 事業案内

## 洗浄・化学洗浄事業

### 船舶 廃油処理

船舶において生じた廃油は、海洋汚染防止の一環として「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（海防法）」において、排出が原則として禁止されています。受入処理を行うためには適切な計画を有し、廃油処理施設が国土交通省令で定める技術基準に適合する必要がある、極めて公共性の高い事業と言えます。

当社は国土交通省より許可を受け、国内外各種船舶の廃油の収集・処理を行っております。また、外国船舶の場合には必要な通関手続きも実施致します。

船舶廃油の種類	
ビルジ	船舶の機関室区域などから漏出した燃料油、潤滑油等が船底に流入し、海水等と混ざって油性混合物となったもの
バラスト水	船舶の航行の安全をはかるため、貨物槽、二重底等に積載した水に油が混入した油性汚水
タンク洗浄水	貨物油艙・燃料油槽及び潤滑油槽を洗浄する際に発生する油性汚水
コレクトオイル	ビルジを油水分離器により船内で処理したあとの油性混合物
スロップオイル	外航タンカーのタンク洗浄水及びバラストを静置又は重力分離等の方法によって船内で処理したあと、船内に貯留される油性汚水
スラッジ	貨物油艙・燃料油槽及び潤滑油槽の底に沈殿する固形物並びに燃料油、潤滑油の清掃の際に発生する油性固形物

【許可番号】

九運海船第 72 号



特殊吸引車

### 化学 洗浄

薬品タンクから側溝清掃まで、目的に応じて施工致します。

【例】

- ・油水分離槽の清掃
- ・油種変更のためのタンク清掃
- ・非破壊検査
- ・暗渠の目詰まり
- ・消防検査対応



## 環境コンサル事業

リサイクル施設の屋根にて太陽光発電を実施しております。

### 太陽光 発電



- ・出力：30.9kWh
- ・推定発電電力：32,629kWh/年
- ・CO<sub>2</sub> 排出削減量：20.0t-CO<sub>2</sub>/年※

※ 温対法にて公表されている当該年度の排出係数（九州電力）にて算出（パネル設置や設備維持管理に伴って排出されるCO<sub>2</sub>は含みません）

### 脱臭剤

臭気の原因を分析し、最適な脱臭材をご提案、販売しています。オーダーメイドも可能です。

対応可能臭気例

- ・有機酸
- ・メルカプタン
- ・硫化水素
- ・アンモニア
- ・アミン
- など

### 環境 アシスト

組織の環境・廃棄物分野の目指すべきゴールに向けて、豊富な経験と環境関連資格を保有している『環境アシスタント』がアシスト致します。

内容例

- ・廃棄物の基礎知識
- ・廃棄物関連法規
- ・電子マニフェスト
- ・ゴミの減量化 など

実績

- ・鉄鋼製造業
- ・精密機械製造業
- ・プラントエンジニアリング業
- ・ハウスメーカー など

# 沿革

- 1971年 個人創業
- 1972年 タンク塔槽化学洗浄事業開始
- 1978年 株式会社クリーンセンター 設立。資本金 4,000 千円  
ロータリーキルン式焼却炉設置  
産業廃棄物処分量許可取得
- 1981年 燃料系リサイクル事業開始
- 1983年 廃プラスチック類処理設備設置
- 1988年 廃酸・廃アルカリ処理設備設置
- 1989年 環境関連資機材開発販売事業開始
- 1992年 産業廃棄物収集運搬業許可取得  
大型破砕設備設置  
資本金 10,000 千円に増資  
特別管理産業廃棄物収集運搬・処分量許可取得
- 1993年 厚生労働省より「厚生省生活衛生局長感謝状」を受賞
- 1996年 破砕設備（移動式）設置  
（社）全国産業廃棄物連合会より「地方優良事業所表彰」を受賞  
一般貨物自動車運送事業許可取得 事業開始
- 1998年 （社）全国産業廃棄物連合会より「功労者表彰」を受賞  
「福岡県知事表彰」を受賞
- 1999年 廃プラスチック類 リサイクル原料事業開始
- 2000年 北九州市より「平成 11 年度産業廃棄物処分量優良業者」を受賞
- 2002年 廃石膏ボードリサイクル設備設置
- 2003年 船舶廃油処理事業許可取得
- 2004年 環境省より「環境大臣地域環境保全功労者表彰」を受賞
- 2005年 北九州市より「平成 16 年度産業廃棄物処分量優良業者」を受賞 継続表彰  
圧縮設備設置  
油水分離設備設置
- 2006年 ISO14001：2004（JISQ14001：2004）認証取得  
優良性評価制度基準適合（北九州市・特管収運）福岡県内第 1 号  
チャイルドスポンサーシップに参加（現在も継続中）
- 2007年 優良性評価制度基準適合（北九州市・中間処理 / 福岡市・特管収運 / 北九州市・収運）北九州市処分量第 1 号
- 2008年 優良性評価制度基準適合  
（福岡県・特管収運 / 北九州市・特管中間処理 / 佐賀県・収運 / 福岡県・収運 / 久留米市・収運 / 佐世保市・収運 / 長崎市・収運）
- 2009年 （社）全国産業廃棄物連合会より「優良事業所表彰」を受賞  
ISO14001：2004（JISQ14001：2004）更新 認証取得  
産学官連携「ふくおか石膏ボードリサイクル研究会」設立  
優良性評価制度基準適合（長崎県・収運 / 佐賀県・収運 / 大分県・収運 / 大分市・収運）  
木くず破砕設備追加設置
- 2010年 北九州市より「平成 21 年度産業廃棄物処分量優良業者」を受賞 継続表彰  
優良性評価制度基準適合（福岡市・収運）  
第 1 回こども茶会開催（以後毎年 1 回開催）
- 2013年 太陽光発電事業開始（30.9kw）
- 2014年 （公社）全国産業廃棄物連合会より「功労者表彰」を受賞
- 2015年 北九州市「産業廃棄物排出事業者・処理業者認定制度」に基づく審査において「北九州市認定産業廃棄物処理業者」として認定
- 2016年 圧縮設備更新
- 2018年 ISO14001：2015（JISQ14001：2015）更新 認証取得  
環境配慮型重機導入
- 2019年 大型吸引車増車 船舶廃油処理事業拡大  
トラックスケール設置



取締役  
岡崎 尚文



取締役  
酒田 美智子

## 社是

社会への貢献  
地域との調和

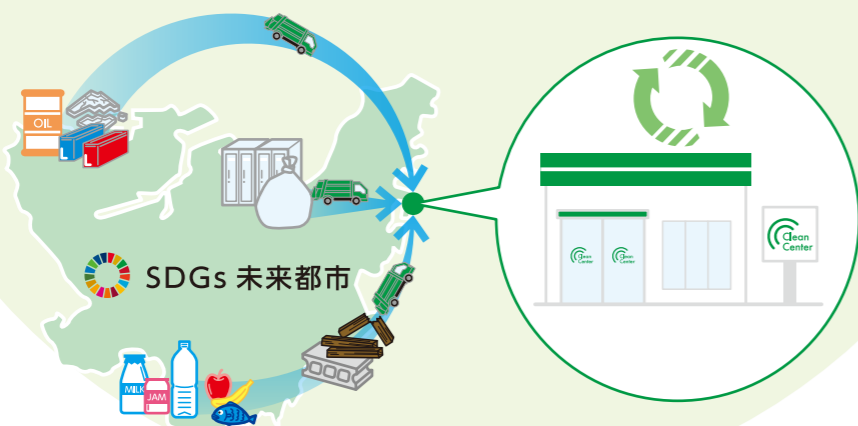
2018年、当社は創業40年を迎えました。創業当初から掲げる社是「社会への貢献」と「地域との調和」は、今の時代で言うと地域課題を解決しサステナブルな社会を実現していくことです。未来を見据えたVisionとCSRを戦略的に実行し、社会課題解決と新たな価値の創造を目指します。

## Vision

廃棄物のコンビニ

当社が事業を行う北九州市は、2011年に「環境未来都市」、2018年に「SDGs未来都市」に選定されました。世界の開発目標として掲げられたSDGsの理念に沿い、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通じて持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選ばれた証です。

北九州市は持続可能な社会の実現に向けて舵を切っています。当社はこのまちのサステナブル構成要員の一人となるために、『廃棄物のコンビニ』を目指します。今や社会インフラの一部であるコンビニは、多種の生活必需品が販売され私たちの生活を豊かにしています。当社の廃棄物事業の特徴である、多品目の処理とリサイクル実績、少量での回収・受入のノウハウを活かし、地域の環境保全と豊かな社会の形成に貢献していきます。



## CSR

持続可能な社会の実現には、持続可能な企業になることが重要です。当社を取り巻く環境やステークホルダーの声を分析し、ESGの側面で重要項目を設定しCSRを推進していきます。またSDGsのGOALも関連づけ、社会課題解決も目指していきます。



## ガバナンス体系



# KPI

[評価方法]◎: 達成率 120% ○: 目標達成 △: 取組実施・目標未達 ×: 取組未実施

重点項目	KPI	関連する SDGs・GOAL	取組内容	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度	2020年度	2021年度
				目標	結果	評価	目標	結果	評価	目標	結果	評価	目標	目標	目標
E 環境	年間 CO <sub>2</sub> 排出量	7, 12	(1) 車両運転時のエコドライブ実施 (2) 処理作業の効率化 (3) 電力使用量の削減	過去3年比 2%削減	8.1%削減	◎	2016年比 1%削減	7.2%削減	◎	2016年比 2%削減	19.5%削減	◎	2016年比 3%削減	2019年比 1%削減	2019年比 2%削減
	平成27年度基準 低燃費車導入率	7, 12	(1) 車両更新時に検討・導入 (2) 車両購入がない場合は現状維持	15%以上	16.7%	○	22%以上	22.2%	○	25%以上	27.8%	○	30%以上	33%以上	39%以上
	平成17年度基準 低排ガス車導入率	3, 11, 12	(1) 車両更新時に検討・導入 (2) 車両購入がない場合は現状維持	30%以上	27.8%	△	33%以上	33.3%	○	35%以上	38.9%	○	38%以上	44%以上	50%以上
	グリーン購入法 適合製品比率	12	(1) 適合文房具類の使用 (2) 適合制服・作業服の使用	40%	42.7%	○	50%	61.1%	◎	50%	66.1%	◎	70%	73%	75%
	電子マニフェスト 新規取引先件数	9, 11, 12, 17	(1) 取引先への勧奨 (2) 取引先での講習会実施 (3) 電子マニフェストインストラクタ活動継続	5件	7件	◎	3件	8件	◎	3件	6件	◎	3件	3件	3件
	埋立最終処分量 削減率	9, 11, 12	(1) 処理工程・処理作業の見直し (2) 各種手順書の見直し	過去3年比 2%削減	7%削減	◎	2016年比 1%削減	8.8%削減	◎	2016年比 1%削減	7.6%削減	◎	2016年比 1%削減	2019年比 1%削減	2019年比 2%削減
	廃油のリサイクル率	9, 12	(1) 選別精度の見直し (2) 手順書の見直し	過去3年比 4%向上	18.9%向上	◎	2016年比 1%向上	41.9%向上	◎	2016年比 1%向上	85.7%向上	◎	2016年比 1%向上	2019年比 1%向上	2019年比 2%向上
S 社会	年間 地域活動実施回数	4, 17	(1) こども茶会の開催 (2) 地域清掃活動の実施 (3) その他地域活動の実施	5回以上	5回	○	3回以上	3回	○	3回以上	3回	○	3回以上	3回以上	3回以上
	労働災害発生件数	3	(1) 労働安全衛生教育の実施 (2) 安全・環境パトロールの実施 (3) ヒヤリハット報告書の活用 (4) ドライブレコーダーの活用	0件	0件	○	0件	0件	○	0件	2件	△	0件	0件	0件
G ガバナンス	優良評価制度による 情報公開	17	(1) 確実な情報公開実施 (2) 複数担当者によるチェック (3) チェックリストによる管理	情報更新 100%以上	100%	○	情報更新 100%以上	100%	○	情報更新 100%以上	100%	○	情報更新 100%以上	情報更新 100%以上	情報更新 100%以上
	検定合格者数	4, 8	(1) 北九州市環境首都検定の受検 (2) CSR 検定試験の受験 (3) CSR レポートを活用した社内勉強会の開催等	環境首都検定: 7名 CSR 検定: 3名	環境首都検定: 7名 CSR 検定: 6名	○	環境首都検定: 8名 CSR 検定: 5名	環境首都検定: 7名 CSR 検定: 6名	△	環境首都検定: 8名 CSR 検定: 7名	環境首都検定: 8名 CSR 検定: 6名	△	環境首都検定: 9名 CSR 検定: 7名	環境首都検定: 10名 CSR 検定: 8名	環境首都検定: 11名 CSR 検定: 9名
	改善提案件数	8	(1) 運営方法の見直し (2) 各部門における提案奨励 (3) 実行後の効果測定実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	年間 10件	年間 15件	年間 20件



## E. 環境の取り組み



### ISO14001：2015 版へ移行

2018年2月に ISO14001：2015 版へ移行完了しました。新規格である2015年版は、ライフサイクル思考で戦略的な環境管理とそれに向けたリーダーシップ、社内外へのコミュニケーションを図りながら活動した結果を重視する環境マネジメントシステムへ改訂されました。

移行に向けて、事業プロセスの環境影響を一つ一つ見直し、再度重要な環境側面を評価し、目標・活動計画に落とし込みました。環境方針も改訂し、より事業活動に沿った環境活動を推進していきます。

#### 環境方針

##### 基本理念

株式会社クリーンセンターは、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処理、一般廃棄物収集運搬、船舶廃油処理、一般貨物運送事業の各業務を通じ、社是「社会への貢献」と「地域との調和」を実践するため事業活動を展開しています。

環境未来都市北九州で廃棄物を取り扱う企業として、地球環境と当社事業活動との深い関わりを認識し、豊かな自然との共存と、地域社会との調和を目指し、北九州市が環境基本計画に掲げる「北九州市民環境力の継続的な発展」、「世界にひるげる低炭素社会づくりの推進」、「未来につなげる循環型社会づくりの推進」、「豊かさを支える生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」の政策目標達成に寄与するとともに、環境マネジメント活動を推進することが経営の最重要課題の一つと位置づけ、以下の「活動指針」を定めます。

##### 活動指針

1. 当社が関わる法規制及び当社が受け入れを決めたその他要求事項を順守します。
2. 当社の事業活動が環境に与える影響を認識して、環境マネジメントシステムを推進し、継続的な改善を実施します。
3. 事業活動を通じて汚染の防止に努め、技術的・経済的に可能な限り 3R を推進し、最終処分量を削減、環境負荷の低減に努めます。
4. 技術的・経済的に可能な範囲で事業活動の省エネルギー化を推進し、低炭素化社会の構築へ寄与します。
5. 労働災害防止に積極的に取り組み、地域環境保全の担い手である社員を守ります。
6. 社員一人一人の環境意識・社会意識の向上のため機会を設け、あらゆる場面で社員全員が「社会への貢献」「地域との調和」の精神を発揮できるよう努めます。

2019年3月25日  
株式会社クリーンセンター 代表取締役 酒田 雅央

部屋の電気は必要以外  
つけない！



業務 Gr.  
仮水 栄二

### 処理工程の見直しによる埋立量削減

昨今の国内廃棄物状況を考えると、最終処分として埋立できる量はひっ迫しており、3年前より埋立量の削減に取り組んでいます。

中間処理後のリサイクル会社と情報共有し、必要な品質を確保するために、特に前処理として行う分別方法を見直しました。また、新規リサイクル会社を増やし、安定的な処理を行う環境整備にも努めています。

埋立最終処分削減率 **7.6%**



### 環境配慮型設備の導入

環境影響を抑えた事業運営を行うために、環境配慮型設備を導入しました。

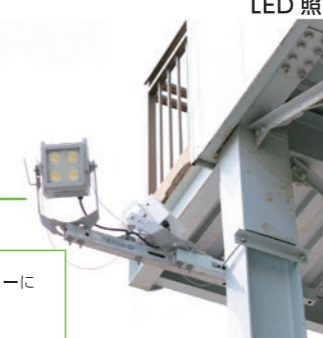
- ✓ 省エネ型エンジンの搭載
- ✓ エコモードで燃料消費量管理
- ✓ オートアイドリングストップ機能で燃料節約と排出ガス低減

#### 省エネ型重機



#### LED 照明

- ✓ 水銀灯代替で有害物質フリーに
- ✓ 消費電力を 50% 削減



### 電子マニフェストの普及促進

適正な処理とコンプライアンス強化の観点から、電子マニフェストの普及を進めています。2020年4月より、特別管理産業廃棄物を年間50t以上排出する事業場は電子マニフェストの使用が義務化されることとなり、お客様からの関心も高まってきました。当社代表が電子マニフェストのインストラクタとしての活動も行っており、九州エリアで開催される講習会の講師も積極的に実施しています。

2018年度は新規取引先が6件増えました。今後もお客様に寄り添い、スムーズな運用ができる環境づくりのサポートも実行してまいります。

#### 電子マニフェスト講習実施

17件

#### 電子マニフェスト新規取引先

6件

電子マニフェスト利用率 **56.8%**

### グリーン購入の推進

事務所等で使用する文房具類を中心にグリーン購入法適合製品を導入しています。

備品発注時にグリーン購入法適合製品を検索し、使用頻度の高い備品から優先的に導入を進め、毎年その比率は向上しています。また、在庫を持たない管理ルールに変え、ムダな資源の削減につながりました。

今後は、文房具類でのグリーン購入に加え、作業着や制服等のグリーン購入も検討していきます。

#### グリーン購入法適合製品例

- ・フラットファイル
- ・ボールペン
- ・乾電池
- ・インクカートリッジ
- ・ふせん など

#### グリーン購入法適合製品比率

**66.1%**

家庭ごみの分別を徹底する！

環境  
Happy Action



業務 Gr.  
石田 達典

## S. 社会の取り組み



### こども茶会の開催

日本の古き良き文化を、未来を担う子どもたちに体験してほしいという願いを込めて、地域の幼稚園児のみなさんをお招きし、毎年「こども茶会」を開催しています。

2018年は4名の社員で運営のお手伝いを行いました。好奇心旺盛な幼稚園児のみなさんに癒やされ、たくさんのエネルギーを頂いています。直接地域とふれあう貴重な機会であり、今後も継続して開催します。

「いつか使うだろう…」ではなく、「今、必要なもの」だけを購入！

環境 Happy Action



管理 Gr. 班長  
柴田 かわり



### 地域イベントのボランティア活動



当社が業務を行う北九州市に感謝の気持ちを表す活動として、地域イベントのボランティア活動や地域清掃を行っています。

ボランティア活動として、地域の小学校で開催されたバザーで発生したごみを回収しています。また、定期的に近隣の公園の清掃活動を行っています。

活動の際には地域の皆様にお声をかけていただくこともあり、当社の主業務を通じて地域に貢献できることの喜びと誇りを感じています。

### ヒヤリハット・KY(危険予知)活動の推進

工場内での災害や車両運行時の事故を未然に防ぐことを目的に、ヒヤリハット活動とKY(危険予知)活動を継続して行っています。

ヒヤリハット活動は、日常業務中に起こった、ヒヤッとしたこと・ハッとしたことを記載した報告書を社員全員が提出し、年間129件になります。毎月集計・類型化を行い、特徴的なものは全社員で共有し、注意喚起をします。

また、KY(危険予知)活動は、その日の作業に

入る前に、事故等が考えられる作業はないかを想定し、より注意を払って作業開始をするものです。潜む危険を想定しておくことで、想定内として即対応できるようになります。

危険感知の感度を上げ未然に防ぐために、今後も継続して活動していきます。



ヒヤリハット事例	
事象	荷下ろしの際に荷を固定していたロープがゆるんでいて荷物が落ちて当たりそうになった。
原因	ロープがゆるんでいても、落ちて → 思い込み くるとは思わなかった。
対策	荷下ろし作業前にロープがゆるんでいないか、先に確認し、作業に入る。

KY(危険予知)事例	
作業内容	高速カッターで鉄が入った物を切断する作業。
作業内容	摩擦で火花が出て燃えやすい物に → 火災発生の危険 引火する。
対策	・周囲に燃えやすい物を置かない。 ・水をくんだバケツを準備して作業に入る。

### ドライブレコーダーによる安全教育の実施

保有車両のすべてにドライブレコーダーを搭載しており、危険挙動を活用した安全教育を行っています。実際の映像で、その時の状況やドライバーの様子を分析し、原因を探り、対策を協議することで、危険予知のトレーニングにつながっています。

また、外部講師をお招きした安全運転講習も開催し、社外での事故事例を活用した教育も行いました。映像で疑似体験することで、安全行動につながっています。

道路交通事故を減らすことは、SDGsにも掲げられている社会課題です。まずは自らが事故を起こさないよう努めていきます。



### 安全環境パトロールの実施



工場内の安全・環境パトロールを毎週実施しています。環境汚染の未然防止や場内美化等5Sの観点を盛り込んだチェックリストを用いて点検することで、安全の確保に努めています。

パトロール結果は社内でも共有し、早急な改善と長期的な改善計画へ落とし込み、よりよい環境づくりへの種にしています。

シャワーは使わず、お風呂にお湯をためて水の無駄遣いをしない！

環境 Happy Action



管理 Gr.  
高木 優希



## G. ガバナンスの取り組み



### 北九州市環境首都検定・CSR 検定の受検奨励

環境未来都市・SDGs 未来都市である北九州市で事業を行うものとして、その背景や専門性を持った上で業務を行うべく、環境・CSRに関する検定受験を奨励しています。

まず最初のステップとして、「北九州市環境首都検定」の一般編を受検しています。北九州市が環境未来都市となった背景や、環境汚染・環境保全の基礎知識が習得できるもので、2009年より「社員全員合格」を掲げています。これまでに延べ13名が合格しました。

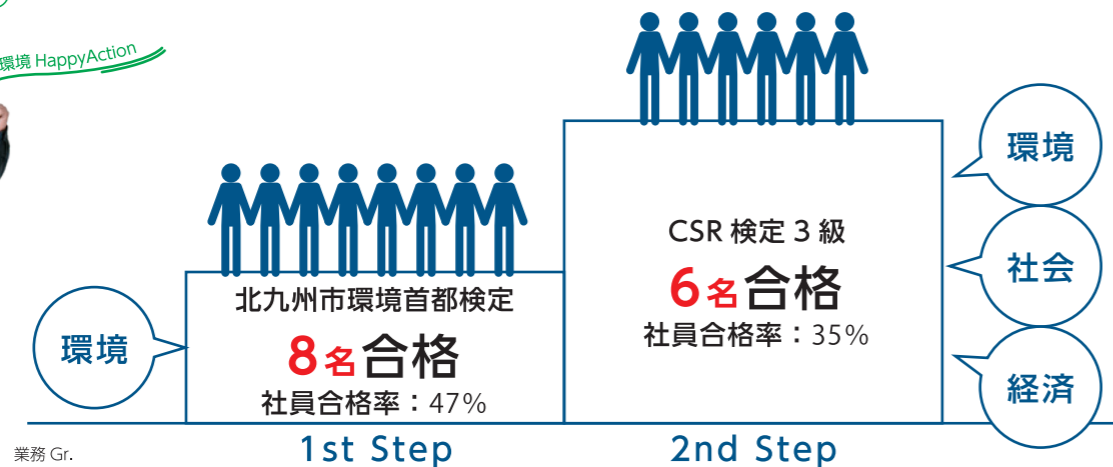
北九州市環境首都検定合格者は、次のステップとして「CSR検定3級」を受検しています。この検定は、CSRの基礎が網羅されており、広く社会人向けに構成されています。2015年から受検奨励をはじめ、これまでに6名が合格しました。

各種受検の前には合格した社員が勉強会を開催したり、社内報に検定問題を掲載するなど、全社一丸となって取り組んでいます。また、より理解を深めることにより、外部とのコミュニケーションも円滑に図ることができるようになっています。

家庭ごみも分別してリサイクルできるものはリサイクルを！



環境 HappyAction



業務 Gr. 明石 裕樹

### 「産廃情報ネット」での情報公開

お客様や協力会社様へ、当社の最新の情報を正確に伝えるために、「産廃情報ネット」での情報公開を行っております。

この Web サイトでは、当社の基礎情報や取得している産業廃棄物処理業の許可内容、施設の能力や維持管理状況など、廃棄物・リサイクル事業に関わる最新情報を公開しています。ステークホルダーの皆様が常に最新情報を入手できるよう、管理担当を定め、履行状況のチェックも行っています。



当社情報公開ページはこちら

産廃情報ネット さんばいくん 検索



### 委託先の定期視察

サプライチェーンマネジメントとして、当社中間処理後の廃棄物処理委託先の定期視察を行っています。

当社独自のチェックシートを用い、コンプライアンスの順守状況や実際の処理施設の状況確認を行います。必須確認事項のほか、組織の近況や方針を共有することで、重要なステークホルダーとの対話の機会となっています。

### 緊急事態対応手順の見直し

2018年度は労働災害が発生し、緊急事態対応手順の見直しを行いました。今回の見直しでは、「予防管理」と「再発防止」の項目を対応手順として充実させました。特に「再発防止」は、不安全状態と不安全行動の分析を行い、作業手順書に協議した結果を盛り込み改訂することで、安全作業の標準化を図っています。

安全な職場環境形成はステークホルダーの安心に繋がっていくと考えており、今後も重要事項として取り組んでいきます。

### よりよい職場環境をつくるために

社員がいきいきとし働きやすい職場環境を創っていくために、改善提案制度を新設します。

日常業務における改善提案の提出を促進し、班長から部門長、そして代表の順で検討し、実行していく計画です。短期的改善と長期的改善と区分し、担当部門を決めて実行していきます。また、画期的で高い効果が見込めるなど、より良い改善提案を表彰する制度も、合わせて新設します。

職場環境をよくしていくためには、改善を習慣づけていくことが重要です。この活動を通じて、常に次の手立てを考え、実行できる人財形成にも繋がっていきます。



詰め替えできる製品を選んで使う！

環境 HappyAction

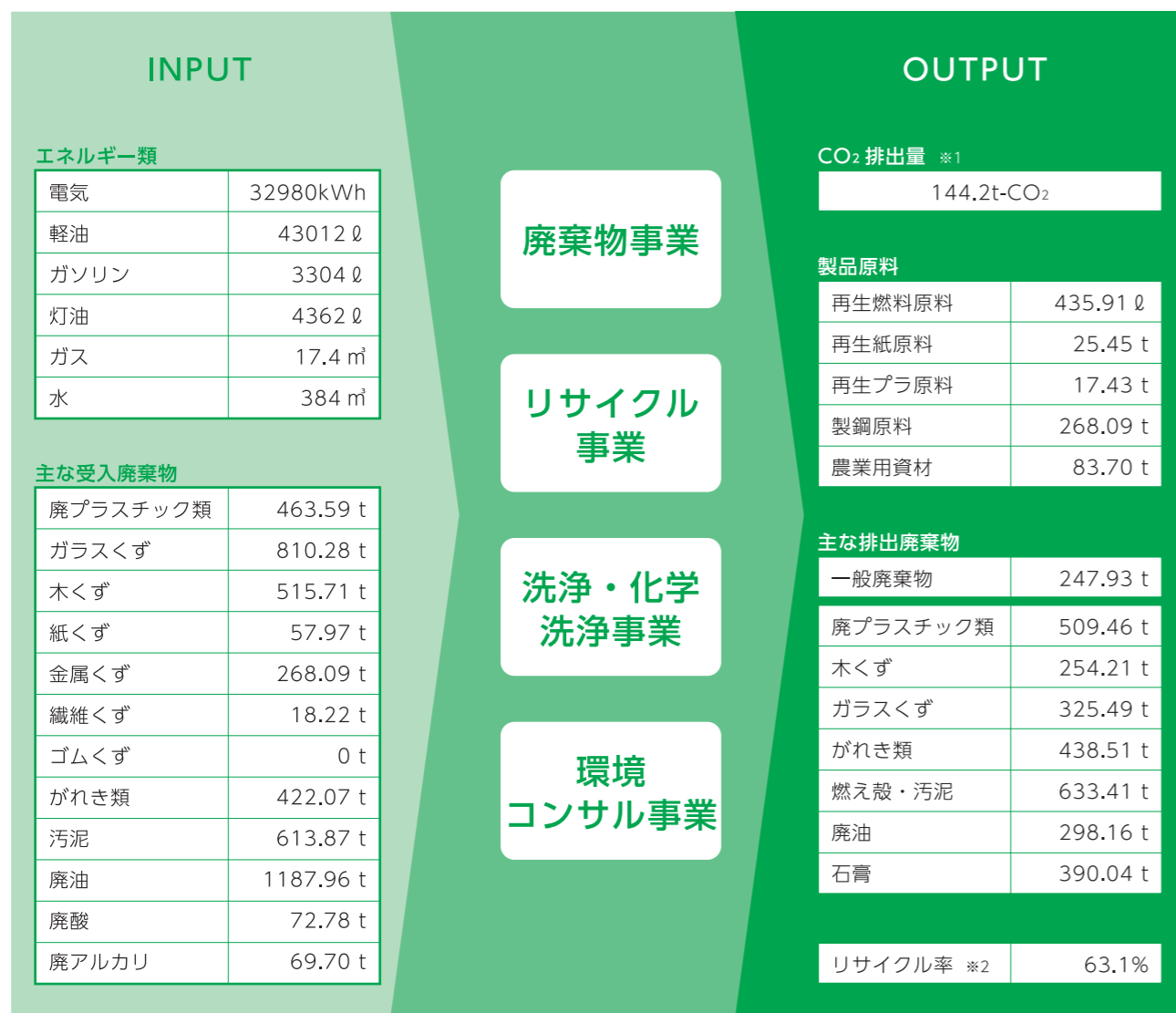
### 朝礼でのコミュニケーション

日々の業務を円滑に行うために、朝礼前に各部門のリーダーが集まり情報共有を行っています。当日の予定や業務の進捗報告、お客様の变化や気になる点の情報共有を行い、各部門で出来るその日のベストな行動を最終決定しています。各部門で収集する情報には特徴があり、お客様の全体像を把握することでサービスの品質向上に繋がっています。



業務 Gr. 山田 哲也

# マテリアルバランス



自社廃棄物運搬量

運搬量	5393.38 t
-----	-----------



当社処理施設      他社処理施設

※1：エネルギー等起源のCO<sub>2</sub>排出量を対象とし、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にて公表されている情報で算定しております。  
 ※2：リサイクル率=サーマルリサイクル量+マテリアルリサイクル量/総排出量

# 環境測定データ

## ばい煙計測結果

試料名	単位	計量結果			基準値
		測定年月日：	2018年4月12日	2018年10月24日	
ばいじん	g/m³	濃度	0.0070>	0.0070>	0.25
		O <sub>2</sub> 換算濃度	0.0067>	0.0063>	
窒素酸化物	ppm	濃度	39	41	300
		O <sub>2</sub> 換算濃度	38	32	
硫黄酸化物	m³/h	排出量	0.0039>	0.0014	0.48 (4月) 0.47 (10月)
		濃度	1>	0.5	
塩化水素	mg/m³	濃度	10>	10>	700
		O <sub>2</sub> 換算濃度	10>	9>	
水銀	μg/N m³	濃度	0.2>	0.5	50
		O <sub>2</sub> 換算濃度	0.2>	0.4	
一酸化炭素	ppm	濃度	—	15	—
		O <sub>2</sub> 換算濃度	—	13	
排ガス性状	%	O <sub>2</sub> 計濃度	11.7	10.3	—
	°C	温度	78	(79)79	—
	m/s	平均流速	6.2	5.6	—
	%	水分	17.3	34.1	—
	m³/h	排ガス流量(湿)	4,820	4,350	—
	m³/h	排ガス流量(乾)	3,990	2,870	—

## 排ガス測定結果

試料採取日：2018年10月24日

試料名	単位	測定結果	基準値
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.081	10
硫黄酸化物	m³N/h	0.0014	0.46
ばいじん	g/m³N	0.0070>	0.25
塩化水素	mg/m³	10>	700
窒素酸化物	ppm	41	300

## 焼却灰・飛灰 測定結果

試料採取日：2018年10月24日

単位：ng-TEQ/m³

分析項目	測定結果	
	焼却灰	飛灰
PCDDs (ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン)	0.000235	0.111790
PCDFs (ポリ塩化ジベンゾフラン)	0.001227	0.024309
Total (PCDDs+PCDFs)	0.001462	0.136099
DL-PCBs (ダイオキシン類 PCB)	0.000231	0.002351
Total ダイオキシン類	0.0017	0.14
基準値	3以下	3以下



## 株式会社 クリーンセンター

福岡県北九州市門司区新門司 3-67-9  
フリーダイヤル：0120-023-326  
TEL：093-481-4523  
FAX：093-481-4529  
<http://www.clean-center.co.jp>



私たちはJリーグ ギラヴァンツ北九州を応援しています

